

巻頭言

保健医療学部健康スポーツ科学科紀要の発刊に寄せて

健康スポーツ科学科 学科長 竹島伸生

朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科は2017年(平成29年)4月に設置されました。健康スポーツ科学科は、「研究対象とする中心分野を健康科学及びスポーツ科学の分野とし、これに関する教育研究を通して、健康科学やスポーツ科学に関する専門知識並びに高度なスポーツ実践技能及び指導技術さらに社会人としての豊かな学識と社会的技量を修得し、高い倫理観と豊かな人間性と国際性を兼ね備え、社会に貢献できる人材を養成する。」ことを目的としています。この具現化のためには、すべての教員が自らの研究に取り組み、成果を教育や社会還元することを日々努力する必要があります。そのための研究成果公表や情報発信の不可欠なツールとして「健康スポーツ科学科紀要」が発刊された次第です。

スポーツ・体育科学は、複合科学であり、教員の多くが属する体育学会で15の専門分科会に分かれていることで明らかのように、その領域の研究内容は多岐に渡っています。基礎的または臨床的研究として分かります。また、いずれも親学問が存在しており、すべて応用科学ともいえます。従来から科学(サイエンス)は、細分化され、macroからmicroへと分析を試みることが行われてきました。人の身体も分子、細胞、遺伝子分野で研究されています。一方、細分化されすぎた結果として、本来の人全体としての動き(パフォーマンス)や機能を捉えることが薄くなっているという反省もあります。スポーツの世界で主観に頼った運動指導の問題点はいうまでもありませんが、実践が伴わないスポーツ理論の先行は絵に描いた餅と同じ価値のないものとなります。

「スポーツを科学する」を合言葉にそれぞれの研究領域での成果を諸学術雑誌への投稿とともに本誌にも投稿寄与していただきたいと思います。一方、本紀要は、従来の学術雑誌の画一した内容に捉われず、日々の教育研究の中から生まれた小さな課題であっても大胆に分析した結果や発想の提案などであっても良いと思われれます。新たなスポーツ科学や体育科学の発展また日々の学生の指導教育の場に有効な情報の提供としての存在になることを期待しております。